

令和5年度前期学校評価集計結果

文責：八巻 隆介

4：そう思う、3：ややそう思う、2：あまりそう思わない、1：そう思わない ■ 前年比-3%以上 ■ 前年比+3%以上

No	評価項目	対象	4	3	2	1	肯定	否定	R4後期前	R4後期否	項目考察
1	生徒にとって学校生活は楽しい。	教職員	21%	79%	0%	0%	100%	0%	100%	0%	「楽しい」と感じる時間とは、物事に対して主体的に取り組むことができている時間とも言える。時間はかかるかもしれないが、今後も全ての教育活動において、生徒が主体的に取り組む活動を実践していく。
		生徒	43%	46%	8%	2%	89%	11%	92%	8%	
		保護者	47%	41%	10%	2%	88%	12%	79%	21%	
2	学校は、学校教育目標達成のための努力を行っている。	教職員	50%	50%	0%	0%	100%	0%	100%	0%	今年の学校教育目標達成に向けたキーワードは「自立」である。そして、自立心を育てるためには「主体性」がとても大切だと考えている。自分たちの学校は自分たちで作る実感をもちたい。
		生徒	36%	52%	9%	4%	87%	13%	90%	10%	
		保護者	48%	44%	8%	0%	92%	8%	85%	15%	
3	自分の学校に自慢できるものがある。	教職員	36%	36%	29%	0%	71%	29%	94%	6%	昨年度、保護者の肯定率が最も低かった項目であるが、今回は昨年度よりも14%肯定率が上昇した。伸びしろはあるが、学校の自慢と生徒を心から誇りに思えることを同義だとすると、とても嬉しく思う。
		生徒	41%	46%	10%	4%	87%	13%	88%	12%	
		保護者	38%	37%	24%	1%	75%	25%	61%	39%	
4	学校は学校教育目標（挨拶・返事・清掃・歌声・笑顔等）を意識した教育活動が行われている	教職員	36%	57%	7%	0%	93%	7%	100%	0%	学校教育目標が絵に描いた餅にならないよう、「主体的に」「具体的に」目標の実現に向けた活動を進めていく。スローガンは定着しているため、他の項目の評価にもつながってほしい。
		生徒	40%	52%	7%	1%	92%	8%	97%	3%	
		保護者	57%	36%	6%	1%	93%	7%	87%	13%	
5	学校は、生徒や学校の様子を学年・学校だより等でよく知らせている。	教職員	64%	29%	7%	0%	93%	7%	100%	0%	各種たよりや諸連絡をスクリーンで配信しているが、生徒の活動の様子や学校生活等について、今以上に積極的に情報を発信するとともに、内容の充実を図っていく。
		生徒	49%	43%	7%	1%	92%	8%	92%	8%	
		保護者	68%	25%	6%	0%	93%	7%	93%	7%	
6	学校は、あいさつをきちんとするよう指導している。	教職員	50%	29%	21%	0%	79%	21%	100%	0%	社会に出てから最も大切な力の一つがコミュニケーション能力であり、あいさつは人間関係づくりの土台となる。今後も、学校・地域全体の意識が高まり、光中学校に関わるすべての人が笑顔になるよう願っている。
		生徒	64%	34%	2%	0%	98%	2%	97%	3%	
		保護者	58%	32%	8%	2%	90%	10%	80%	20%	
7	先生は、生徒のことをよく理解しようと努力している。	教職員	71%	29%	0%	0%	100%	0%	100%	0%	我々教職員にとってこの項目の評価はとても重い。目の前の生徒たちが自分の子どもだったらどう思うのか、どういふ対応をするのか等をイメージしながら、保護者と共に寄り添った指導・支援を継続していく。
		生徒	43%	47%	7%	2%	91%	9%	94%	6%	
		保護者	45%	42%	11%	2%	87%	13%	84%	16%	
8	先生は、子どもの特性に合わせて個に応じたきめ細やかな支援を行っている。	教職員	36%	64%	0%	0%	100%	0%	100%	0%	インクルーシブ教育の推進を図りつつ、「個別最適な学び」が実現されるよう、ICTも活用しながら、今まで以上に生徒、保護者と連携をとりながら進めていく。
		生徒	32%	49%	15%	4%	81%	19%	94%	6%	
		保護者	42%	41%	16%	2%	83%	17%	84%	16%	
9	学校は、いじめを許さない雰囲気がある。	教職員	64%	36%	0%	0%	100%	0%	100%	0%	生徒の肯定率の低下が気になる。令和4年12月に「生徒指導提斐」が改訂され、いじめ対策が再重視された。今後も学校全体が暖かい空気感に包まれ、生徒一人一人が安心感をもって生活してほしい。
		生徒	36%	43%	18%	3%	79%	21%	84%	16%	
		保護者	38%	39%	20%	3%	77%	23%	66%	34%	
10	先生は、困っている時に相談に乗ってくれる。	教職員	64%	36%	0%	0%	100%	0%	100%	0%	保護者の肯定率が上昇したことを素直に嬉しく思う。今後も、生徒自身が一人で抱え込まぬよう、学校がSOSが出せる場所であるよう、相談体制を整える。また、保護者の皆様も遠慮なく相談してください。
		生徒	48%	43%	7%	1%	92%	8%	92%	8%	
		保護者	46%	39%	12%	3%	85%	15%	75%	25%	
11	学校は、命を大切に心や社会のルールを守る態度を育てている。	教職員	64%	36%	0%	0%	100%	0%	100%	0%	「学校のルール=社会のルールやマナー」となるよう、生徒自身が「主体的」に行動できるように、今まで以上にルール、マナー、モラル等様々な角度から生徒の心を醸成していく。
		生徒	67%	29%	4%	0%	96%	4%	98%	2%	
		保護者	54%	36%	9%	1%	90%	10%	87%	13%	
12	学校は、生徒に基本的な生活習慣を身につけさせようと努めている。	教職員	50%	50%	0%	0%	100%	0%	100%	0%	学校での諸活動の充実、基本的な生活習慣が土台となっている。引き続き、家庭教育の充実を図るとともに、地域と連携しながら、継続的な指導を進めていく。
		生徒	47%	44%	8%	1%	91%	9%	96%	4%	
		保護者	54%	38%	6%	2%	92%	8%	91%	9%	
13	学校は、環境美化活動やパトロール等、保護者と連携した活動に取り組んでいる。	教職員	7%	71%	14%	7%	79%	21%	56%	44%	保護者の皆様の全員が、交通安全指導に関わっていただける中学校はほとんどありません。環境美化活動など、地域の活動に積極的に参加するなど、行事を吟味し、持続可能な活動を増やしていきたい。
		生徒	40%	45%	10%	4%	86%	14%	87%	13%	
		保護者	56%	37%	7%	0%	93%	7%	96%	4%	
14	学校行事は、楽しく充実している。	教職員	57%	43%	0%	0%	100%	0%	100%	0%	全ての学校行事に共通することは、「『全員が楽しく』。そして、各行事、勉強、生徒会活動、部活動等日常生活の全てがかつがっている。これから先の行事も同様であり、よりよい行事にしたい。
		生徒	61%	33%	4%	3%	94%	6%	92%	8%	
		保護者	62%	30%	7%	1%	92%	8%	88%	12%	
15	部活動は、生徒にとって充実している。	教職員	43%	57%	0%	0%	100%	0%	100%	0%	令和4年12月に「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」が示され、部活動の意義について再考が必要である。地域移行に関しては注視している。
		生徒	66%	23%	3%	7%	89%	11%	91%	9%	
		保護者	52%	33%	13%	3%	85%	15%	85%	15%	
16	学校は、生徒に豊かな心を育もうと努力している。	教職員	57%	43%	0%	0%	100%	0%	100%	0%	他人を思いやる心、生命や人権を尊重する心、自然や美しいものに感動する心、正義感や公正さを重んじる心、勤労観・職業観など、引き続き教育活動全体を通して育成していく。
		生徒	57%	39%	3%	0%	96%	4%	98%	2%	
		保護者	51%	37%	11%	1%	88%	12%	93%	7%	
17	学校は、自らの生き方や進路について真剣に考える生徒を育もうとしている。	教職員	57%	36%	7%	0%	93%	7%	94%	6%	キャリア教育が高校選択だけでなく、社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てる。中学校3年間が、今後の人生の礎となるよう、少しでも悔いを残さないよう今を大切に生活させる。
		生徒	54%	32%	11%	4%	85%	15%	91%	9%	
		保護者	46%	36%	16%	2%	82%	18%	80%	20%	
18	先生は、授業に集中させる工夫や指導をしている。	教職員	43%	50%	7%	0%	93%	7%	100%	0%	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に努めている。校内研修に講師を招くなど、ICTの活用をはじめ、授業の質を高め、主体的に学ぶ授業を実践するため、今まで以上に研修を充実させる。
		生徒	41%	46%	11%	1%	88%	12%	94%	6%	
		保護者	43%	40%	16%	0%	83%	17%	76%	24%	
19	授業がわかりやすい。	教職員	21%	64%	14%	0%	86%	14%	100%	0%	授業がわかりやすいことは大切ではあるが、受け身での学習は理解した「つもり」になってしまうこともある。アウトプットとインプットの両輪を充実させることで、深い学びにつなげていく。
		生徒	36%	53%	10%	1%	89%	11%	92%	8%	
		保護者	36%	43%	20%	1%	79%	21%	69%	31%	
20	先生は、家庭学習を計画的にできるよう指導している。	教職員	21%	57%	21%	0%	79%	21%	89%	11%	保護者の肯定率が最も低い項目となった。学習習慣の確立や適切な学習課題など、個に応じた指導を充実させるとともに、家庭内での支援も欠かせないことから、より一層保護者との連携を深める必要がある。
		生徒	36%	35%	22%	7%	71%	29%	83%	17%	
		保護者	37%	34%	27%	3%	71%	29%	65%	35%	
21	学校は、学力向上に向けて取り組んでいる。	教職員	36%	64%	0%	0%	100%	0%	94%	6%	生徒の授業評価を真摯に受け止め、授業改善につなげていく。学力向上は我々教職員の使命である。「何を学ぶかではなく、どう学ぶか」を重視し、更なる研修が必要である。
		生徒	47%	47%	4%	2%	94%	6%	96%	4%	
		保護者	40%	39%	17%	3%	80%	20%	68%	32%	
22	学校は、生徒会活動を通して、生徒に自立や自治の力を育もうとしている。	教職員	21%	71%	7%	0%	93%	7%	89%	11%	生徒会活動は生徒自身の想いを表現する貴重な場である。光中学校に関わるすべての人たちが気持ちよく生活できるように、全生徒によるPDCAサイクルを確立させたい。
		生徒	41%	48%	11%	1%	89%	11%	92%	8%	
		保護者	56%	32%	10%	2%	88%	12%	82%	18%	
23	学校は、読書活動の推進に向けて取り組んでいる。	教職員	0%	29%	57%	14%	29%	71%	44%	56%	「本と人との出会いは人は変わる」とも言われる。読書離れが進む中、読書指導員と連携し、図書室のさらなる利用促進について検討するなど、読書活動の充実を図っていく。
		生徒	23%	25%	35%	18%	48%	52%	51%	49%	
		保護者	40%	38%	20%	3%	77%	23%	66%	34%	